



イケケン先生の『恐縮ですが…一言コラム』

第 678 回 プロスポーツ市場ダントツは、「巨人」

2016.4.24

僕は、スポーツやるのは大の苦手、息があがってとても動けない。
COPD だから、もっぱら「観る」だけと、精一杯開き直っている。
その観る対象スポーツも、実はかなり限られている。
プロ野球、それも巨人が勝っている試合のみ、あとは相撲、プロレス等の裸の男の格闘技だけである。
つい別次元の眼になってしまう女子プロレスや、殴り合っているだけのボクシングは見ない。
オリンピックと高校野球はあまり好きではない…と、どうでもいいけど、変わりもんの変な趣味だ。

日本国内のプロスポーツ団体が加盟するスポーツ組織、公益財団法人日本プロスポーツ協会がある。
少し前のデータだが、2011 年、年間のプロスポーツ観客動員数は **6,097 万人**、国民の約半数がライブ
でプロスポーツを観ていることになる。公営競技を除くスポーツでは、プロ野球が **2,200 万人**で最も多
く、サッカー(Jリーグ)が **770 万人**で続いていた。第3位は男子ゴルフの **57.5 万人**である。
スポーツの実績値だから、人気選手の動向、イベントの内容等で、毎年データは大きく変わる。
たとえば大相撲。部屋での暴行事件、八百長問題などの不祥事が相次いだ、5年前には 30 万人にま
で落ち込んだ。しかし”今”、90年代若貴ブーム以来の人気といわれ、当時の最高年間入場者数 84
万人に迫る勢い。去年はなんと **76 万人**動員した。

2013 年のデータで、2大プロスポーツと言われる、プロ野球とサッカーを比べてみる。
Jリーグの公式記録によると、J1では 306 試合が行われ、総観客動員数は **527 万 1,047 人**。1試合ご
との平均は **17,226 人**だ。サッカー人気は、前述した 2011 年から、若干落ち込んでいるようだ。
一方、NPB公式記録によると、野球はセ・パ合わせて 864 試合が行われ、総観客動員数は **2,204 万
7,491 人**。1試合平均は **25,500 人**を超えている。
試合数の多い野球が総観客数で上回るの分かるが、1試合平均でもサッカーの約 **1.5 倍**の観客
を動員していることは驚きである。
更にプロ野球、去年の観客動員数は過去最多の **2,432 万人**を記録した。
チーム別動員数第 1 位の巨人の 1 試合当たりの平均動員数が **42,270 人**、年間 3,001,187 人である。
本拠地東京ドームの観客収容数は 45,000 万人なので、平均収容率 92%と、ほぼ毎試合満席という
状況である。以下第 2 位阪神、1 試合当たり 39,977 人、年間 2,878,352 人。第 3 位がソフトバンクで、
同様に 35,221 人、2,535,877 人となっている。
Jリーグナンバーワンの浦和レッズの、1 試合当たり平均観客数は約 37,000 人。
全プロスポーツ1試合当たり平均観客動員数、阪神の次にランクされる状況である。

日本の 2 大プロスポーツのマーケット規模は、プロ野球:約 1,400 億円(推計値)、Jリーグ:約 800 億円
(J1,J2 クラブ営業収入の合計)と言われている。
ちなみに、ライブ市場 2,318 億円、映画市場 1,942 億円というデータがある。
プロスポーツもある種のエンターテインメント産業であることを踏まえると、今後はライブ市場や映画
市場が競合になることも考えられるだろう。
海外の野球、サッカーの売上高を見ると…野球:MLB:7,500 億円、サッカー:プレミアリーグ:3,800 億
円と、いずれも日本市場の約 5 倍、差はかなり大きいのが現状のようだ。